

Street Rugby Concept Chart



STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

一般社団法人 STREET RUGBY ALLIANCE 組織図

代表理事	鈴木 寛 (文部科学大臣補佐官・慶應義塾/東大客員教授)
副代表理事	小山 裕昭
副代表理事	大西 一平
理事	坂本 典幸 (日本ラグビー協会 専務理事)
理事	鶴田 友晴 (ラグビーW杯2019組織委員会)
理事	廣瀬 俊朗 (日本ラグビー協会 アスリート委員長)
理事	藤沢 久美 (シンクタンク・ソフィアバンク代表)
監事	池本 修悟 (Cheer! NIPPON)
顧問会計士	森 隆夫 (森税務会計事務所)

STREET RUGBY ALLIANCE

ストリートラグビーとは

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

ストリートラグビーとは

2019年にワールドカップを迎え、認知度の向上や人気上昇をより一層強化しなければならない現状です。大勢の人の目に触れる機会をいかに作り、また、簡単に体験できる環境をどう創造していくかが課題でした。

大型グラウンドで構え待つのではなく、賑わいのあるまちに繰り出す構造は、スポーツをファッション化する新しい感覚であると我々は考えます。ラグビーを知らない多くの皆様にもボールに触れていただき、その手触りや息遣いからラグビーを肌で感じていただくことが大切だと思いついたのです。

Street Rugby Program 目的

ストリートラグビーとは

ストリートラグビーは、活気に溢れる市街地を舞台に、スピード感とタフネス、ビートに溢れ、誰もが参加できる安全で魅力的な競技です。観る人を魅了すると共にエキサイティングな空間を創造し、まちに躍動感と活気を与え賑わいや喜びを分かち合えるコンテンツともいえるでしょう。

ストリートラグビーの最も重要な目的は、まちの新しいコミュニティを創造するスポーツ型コンテンツとして多くの地域に定着化させることが目的です。

ストリートラグビーアライアンスはストリートラグビーの普及振興に関する事業を行い、その健全な発展を図るとともに国民健康の向上と健康寿命の延伸、そして明朗なスポーツヒューマンシップの涵養につとめ、もって社会文化の向上発展に寄与することを目的とする。

Street Rugby Program **安全性確保のために**

ストリートラグビーに関わるロゴまたは商標について

公式ロゴに関する著作権とストリートラグビーに関する商標権はストリートラグビーアライアンスが保持しています。

これは、ストリートラグビーという新しい競技の発展的可能性を維持し、ルール及び安全性の一定レベルを保つ為のものです。ラグビーにおける普及強化やスポーツの発展をはじめ、まちづくりやまちの絆づくりにも安全で楽しく、新感覚の感動を創造できるコンテンツとして長く社会に貢献することを目的とします。

商標：STREETRUGBY 登録5830065号

第25類 被服、バンド、ベルト、履物、運動用特殊衣服、運動用特殊靴

第28類 ラグビーボール等のラグビー用具

第41類 ラグビーボールを使って街頭で行うスポーツ競技又は遊戯の企画・運営・開催、サッカー・ラグビー・クリケットなどのスポーツの興行の企画・運営又は開催

「STREETRUGBY」商標権に関する告知

「STREETRUGBY」の文字及び図柄は一般社団法人STREET RUGBY ALLIANCEによって日本で商標登録されました。この商標権は類似の「ストリートラグビー」にも権利は対象となり、商品、業務は被服、ラグビー用具、ラグビーボールを使って街頭で行うスポーツ競技に及びます。

この「STREETRUGBY」の商標を無断使用する商標権侵害製品に対して、知的財産権であるこの登録商標を侵害したものとして、インターネットからの削除を含め必要な措置を取らせていただきます。

また、ストリートラグビーアライアンスは、直接監修するイベントまたは練習会においてロゴを公式使用しますが、公式ロゴを使用しない類似イベント又は練習会に関しては、一切関係性が無いことを明確にしています。

ストリートラグビーの実績とこれから

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program 活動実績 2015年

イベント実績

日本橋イベント実績

総参加者数 340名

京橋イベント実績

総参加者数 100名

練馬イベント実績

総参加者数 60名

池袋イベント実績

総参加者数 120名

川越イベント実績

総参加者数 70名

愛知・豊田イベント実績

総参加者数 200名

南三陸イベント実績

総参加者数 50名

秩父宮イベント実績

総参加者数 350名

累計参加者数

(2015年7月~12月)

観客来場者：約46000人

1000名以上

未経験者：60%

事故：0人

参加者：ボランティア選手含む

イベント計画

埼玉こども動物園実績(3/20~21)

総参加者数 350名 2万人

スポーツフェスタ@東京 (6/25)

総参加者数 330名

日本橋イベント実績 (4/2)

総参加者数 450名 2万人

オーストラリア大使館 (6/30)

総参加者数 10名

埼玉スーパーアリーナ実績 (4/29~5/1)

総参加者数 1,700名 2.6万人

丸の内仲通りイベント(8/17)

総参加者数 50名 1万人

南三陸町イベント (5/28)

総参加者数 50名

まつり宮崎 (8/20)

総参加者数 518名 10万人

郡山市イベント (5/29)

総参加者数 100名

東京ビッグサイト(8/23)

総参加者数 144名 5千人

静岡イベント (5/28~29)

総参加者数 120名 3千人

郡山イベント(9/3)

計画参加者数 50名 100人

熊本県立運動公園 (6/4)

総参加者数 100名

小田原イベント(9/4)

計画参加者数 150名 1万人

熊本県益城町立広安西小学(6/4)

総参加者数 20名

墨田イベント(10/2)

計画参加者数 200名 5万人

熊本県熊本 白川公園 (6/5)

総参加者数 50名

横浜イベント(10/10)

計画参加者数 200名 2万人

味の素感謝祭 (6/11)

総参加者数 360名

新宿イベント(10/22)

計画参加者数 150名 2万人

計画参加者数

(2016年1月~12月)

観客来場者：約600,000人

10,000名以上

未経験者：70%

事故：0人

参加者：ボランティア選手含む

ストリートラグビー そのルール

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program **そのルール**

ストリートラグビーとは

試合開始の心得は？

自分自身がケガをしたり、相手にケガをさせたりしない。
ストリートラグビーの目的は、ゆとりをもって楽しく、安全にプレーすること

人数は？

- アタック 3人
- ディフェンス 3人

試合時間は？

- 1分以内×2ハーフ（前後半）
（プレイヤーの体力や安全性を考慮して、レフリーが試合時間を調整する）

使用するボールは？

- ラグビーボール 4号球（タグラグビーで使用）

得点は？

- アタックは、ディフェンスに3回タッチされるまでにインゴールにグラウンディングするとトライ3点（ゴールライン上はトライ）
- ディフェンスの不正なプレーがなければほぼ間違いなくトライが得られたとレフリーが判断した場合は、ペナルティトライ3点

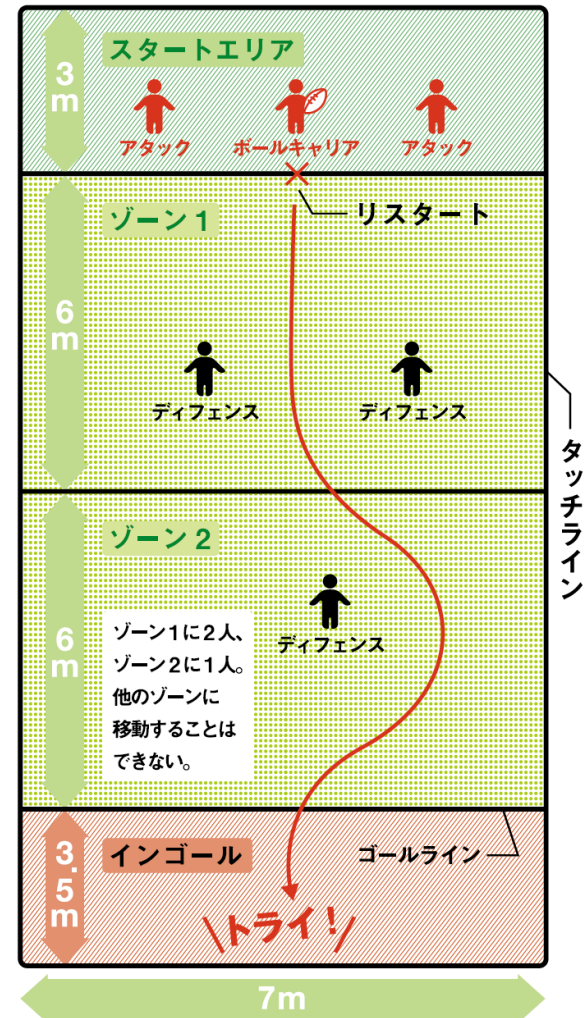
攻守交代は？

- アタックのボールキャリア（ボールを持っているプレイヤー）がディフェンスに3回タッチされる。タッチは片手で行う
- ボールキャリアがボールを落とす
- ボールキャリアがボールを前に投げる
- ボールキャリアがタッチラインの外にでる（タッチライン上は外）
- ボールキャリアが、タッチされても意図的に止まらない

攻守交代後のリスタートは？

- 攻守交代のホイッスルが鳴ったら、スタートエリアに置いてあるボールをピックアップしてはじめる

ストリートラグビーのルール



ストリートラグビー 6つの効果

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program 効果①

ラグビーは教育に適したスポーツである

早く大人になれ、いつまでも子供であれ

- 1) 様々な体形や能力に応じた15のポジションで平等性を知る
- 2) 体格や速さの差は、連携、協力によって埋まることを学ぶ
- 3) ストレスと回復のバランスを保つ習慣がつく
- 4) タフネスは常に才能を勝ることが体感できる
- 5) 一貫性と規律の重要性を知ることができる
- 6) すべての逆境や危機は、成長の機会であることを知る
- 7) 何事においても、勇気とやさしさが重要と知る
- 8) 競い合うことで、共に健闘を称え友情で結ばれることを知る

こんな経験値が、自分が拠点になって何事にも取り組む精神を生み、すべてに置いて自分一人では生きていけない事を学ぶのである。

Street Rugby Program 効果②

Cool(カッコいい) Enjoy(楽しい) Improve(上達する)
を感じることで初めて学ぶ感性の豊かさ

- | | |
|-------------------|-----------------|
| Discipline | ルールを守る大切さを知る |
| Respect | 仲間を尊重する大切さを知る |
| Progress | やってみて上手くなる喜びを知る |
| Team work | 協力する事の大切さを知る |
| Ambition | 将来への希望をひらく |

Street Rugby Program 効果③

ラグビーを通じて学ぶ4つの資質

好奇心の育成

子供たちが、町のイベントやラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックへ積極的に参加するようになる。

行動力の育成

子供たちが、ストリートラグビーイベントや大会開催までの準備に参加し、テーマに関わらず積極的に活動する基礎的な力を身につける。

社会貢献精神の育成

子供たちが、ストリートラグビーでスポーツの精神を学び、大人たちとも友情を築き、絆づくりやまちづくりに貢献する為の感性を身につける。

リーダーシップの育成

子供たちが、今後の人口減少、少子高齢化社会に対し、地域リーダーになる為の資質を身につける、企業では健康経営のリーダーに成長。

ラグビー界における強化メリット

タグラグビー

タグなどの道具がいらず人数は3人で場所を選ばない。タグを学ぶ子供たちの通常練習として効果絶大！学校内でのタグラグビー教室のウォーミングアップやスキルアップには最適。

高校ラグビー

部員不足で組織立った練習が難しい、グラウンドがないなどの環境下に適し、従来の練習方法をはるかに超えたステップアップオプションを持つ強化練習方法。7人制、15人制への応用効果は絶大。

トップレベルラグビー

空間認知力やコーディネーショングレーディングトレーニングとなる。アンストラクチャーの極みの中でタフネスと集中力、コミュニケーションの向上を図る新しいスタイルのトレーニング。リンケージやラインブレイクのスキル向上効果は、ゲームでの即効性抜群！

Street Rugby Program 効果⑤

学校スポーツへのメリット

すべてのスポーツのウォーミングアップや基礎トレーニングに最適

短い時間で高効率な能力開発

その能力とは、「リズム能力」「バランス能力」「変換能力」「反応能力」「連携能力」「定位能力」「識別能力」です。スポーツを行う際に必要不可欠な能力が高度な必要性で要求されるストリートラグビー。1分以内のゲームの中で、このすべてを高い基準で自然に学べるスポーツです。

運動能力の向上には多彩な動きを短時間で行うことが重要

効果的に運動能力を向上させるためには、短時間でいろいろなバリエーションの動きをすることが大切です。同じ動きを繰り返すのではなく、次から次へと新しい動きに取り組むことで、からだにさまざまな刺激が加わりより効率的なトレーニングによる効果が向上します。

運動神経を伸ばすために

また、運動神経を伸ばすためには、動きの中に様々な要素が必要となります。「両側性」「複合性」「対応性」「不規則性」「変化性」など、ストリートラグビーにはアタック3人での連携と、ディフェンス3人に対する相対性が基礎的構造に含まれています。スペーシング、タイミング、グレーディングなど、多彩な動きの要素を6人が同時に不規則に動く中で、ボールを中心としたつながりを要求されることで、より効果の高い運動構造を成立させます。

Street Rugby Program 効果⑥

開催地域へのメリット

すべてのスポーツのウォーミングアップや基礎トレーニングに最適

学校をベースとしたエイジレスの練習会が新しいコミュニティを創造

子供たちへの体験会へ地域の住民や民間企業からも合同参加。練習構造にも初めて出会うエイジレスな関係構築メニューを盛り込み、練習会を重ねるごとに深まるストリートラグビーを通じた新しいタッチのコミュニティの創造。

民間企業内でのストリートラグビー部創設

大会を目標に目覚めるラグビー熱。15万人をプレーヤー人口として持つラグビーは、ある一定の年齢や環境で毎年同じような数のプレーヤーたちが入れ替わっている。プレーヤーに付随する家族やファンを入れるラグビーに関わった人々の数は計り知れない。特に就職を迎える際に環境を失ったり、けがに対する懸念でプレーを続ける人は少ない。ストリートラグビーは初心者や年齢を超え、安全にラグビーフィーリングを共有。短時間で効率の高い運動としても、健康経営に適したプログラムとなり埋もれたラグビー熱を最大に活用できる。

定期練習会の継続を協会&地域&民間企業で継続

20m×8mのグラウンドを取り囲む沢山の街の人々、エキサイティングなゲームやトライに起こる歓声や喝采。そこはまるで満員に埋まった小さな国立競技場となる。その興奮と感動、心に残る満足感を小さなレベルで定期的に継続することで、子供たちに行動力や夢を与え、まちづくりや絆づくりに大きく貢献することとなる。

ストリートラグビー イベント開催形式

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program **開催アイデンティティ**

イベントは2つのアイデンティティで構成される

1. ガイドプレーヤーシステム

イベント開催地周辺での事前ガイドプレーヤー練習会を単体チームや合同スクールなどに行い、イベントでは初心者を対象とした飛び入りプレーヤーに安全で楽しい体験を与えるシステム。

ガイドプレーヤーへのインセンティブとして、強化育成に役立つストリートラグビーの応用編と、最新ラグビーの基礎トレーニングを施し、広い範囲でのラグビー強化にも役立つシステムとなる。

(最大600名/2面グラウンド/1日の体験が可能)

2. チームエントリーシステム

イベント開催地周辺の企業やまちの皆さんにチームを組んでいただき、まちの交流を目的とした大会を実施。地域の繁栄やソーシャルキャピタルの向上が目的となる。

民間企業の参画により継続体制の強化を図るシステムでシティーアライアンスのベースづくりとなるシステムとなる。

(最大100チーム/2面グラウンド/1日の参加が可能)

Street Rugby Program 開催アイデンティティ

支援者に贈る3種類のプライドインセンティブ



大会を主体的に運営していただいた総合プロデューサーへの感謝状

開催地域での事前練習会の呼びかけや参加者の動員、イベント当日の人員や環境の整備および全体の総合プロデュースにご尽力をいただいた方へ



最優秀ガイドプレーヤーへの感謝状

ガイドプレーヤーとして安全性に配慮し、全体の運営に貢献。最も一般の皆様にもラグビーの楽しさや素晴らしさを伝えていただいた方へ



ガイドプレーヤーとして参加してくれた皆様への感謝状

事前練習会を経て、一般の参加者を安全にガイドし、ラグビーの楽しさや素晴らしさを体験していただくことに貢献していただいた方へ

ストリートラグビー
安全性の確保とインストラクター制度について

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program **安全性確保のために**

インストラクター制度の確立

ストリートラグビーアライアンスでは、インストラクター制度の設立を予定しています。ストリートラグビーを安全に指導実施するにあたり、ラグビーを基礎とした固有ルールの理解はもちろん、技術の発展性、特に安全性の確保に対する知識と認識が高度ラグビー経験者においても新たに必要となります。

ラグビー同様、相手チームと対面でプレーし、他の競技には少ない個々の空間認知力やコーディネーション能力が必要とされます。他のプレーヤーの動きやボールにタイミングやスピードを合わせてプレーする為には、一定の練習や起こりうる問題に対する認識が必要とされ、特に経験者と未経験者を混合する場合には注意が必要です。

スピードに対する感覚落差やゲーム理解度の差を洞察し、一定に進行を保つためには、安易に見えるゲーム性をはるかに超えたコントロールやオーガナイゼーション能力が必要となります。これはレフリングにおいても同様で、同時に動く6人のプレーヤーの動きを予知し、体力やバランスを失わない範囲で、より効率的な動きを追及する為の特定の経験が必要となります。

安全に誰もがができるスポーツとしての確立には、インストラクターの養成は急務であり、ラグビー界における経験値や理解度のばらつきを底辺で修正し、ラグビー認知度の向上や地域への普及に向けた、ラグビーそのものの競技理解度向上に対しても、ストリートラグビーインストラクター制度は貢献することを目指しています。

Street Rugby Program 安全に広げたい

インストラクター制度は2つのレベルで構成される

1.インストラクター

- ストリートラグビーの練習会の開催及びチームの指導等を目的として活動し、本法人がストリートラグビー憲章、競技規則を熟知していると認められた者。
- 練習会の定期開催と小規模なイベントの実施ができる。（本法人又はシティアライアンスに開催申請が必要）
- 認定講習内容は講習1.5時間、実地講習1.5時間とする。
- ラグビーシナプ普及員講習を別途1時間とする。

2.アドバンスインストラクター

- インストラクターとしてすでに活動している者で、本法人又はストリートラグビーシティアライアンスの中心に属し運営にかかわる者。
- インストラクターに対し認定講習を行うことができる。
- 練習会の定期開催はもとより大型イベントの主催または共催者としてかかわることができる。（本法人に開催申請が必要）
- 認定講習内容は講習1.5時間。
- ラグビーシナプインストラクター講習を別途2時間×2回

ストリートラグビー シティアライアンス制度について

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

Street Rugby Program **開催アイデンティティ**

ストリーとラグビーシティアライアンスの目的

目的

本法人は、ストリートラグビーの普及振興に関する事業を行い、その健全な発展を図るとともに国民健康の向上と健康寿命の延伸、そして明朗なスポーツヒューマンシップの涵養につとめ、もって社会文化の向上発展に寄与することを目的とする。

STREET RUGBY CITY ALLIANCEとは地域の有志によって運営される組織をいう。本法人の目的を各地域で円滑に達成するために設置するものであり、ストリートラグビーを介してまちにおけるコミュニティの創造や、まちづくりに貢献することを目的としています。

Street Rugby Program **開催アイデンティティ**

ストリートラグビーシティアライアンス認定制度と概要

- STREET RUGBY CITY ALLIANCE認定制度は、本法人の目的を具体的に実現するため、ストリートラグビーのルールやゲームの運営に熟知し、安全性の確保や維持に努め、参加者が楽しめる練習会の開催や大小のイベント開催に、細心の注意払って仕組み全体を運営推進する為のものとしてします。
- 本法人がSTREET RUGBY CITY ALLIANCE認定をする対象者は下記とする。
 - 1、ストリートラグビーアドバンスインストラクター 3名、内ラグビーシナプアドバンスインストラクター 1名以上が作る地域に根付いた組織。
 - 2、ストリートラグビーアドバンスインストラクター資格については別途インストラクター認定規定に定める。

組織構成・活動内容・目標の概要

Concept Over 35
(活動宣言の為の会員登録)

正しいストリートラグビーを知って、安全に地域で始めましょう。

Concept Over 35の組織拡大強化

2019 ZERO to ONE
(ボール70万個配布計画)

インストラクター資格取得

練習会の定期開催と小規模なイベントの実施が可能。

アドバンスインストラクター資格取得

より安全に推進するためにインストラクターを育成しましょう。

ストリートラグビーシティーズアライアンス構築

大きなイベントの開催やアドバンスインストラクターを育成し、まちにコミュニティを創造しソーシャルキャピタルと向上させましょう。

明朗な
スポーツヒューマンシップの涵養

健康寿命の延伸
社会文化の向上発展に寄与

Make another **ZERO to ONE** toward to Rugby World Cup 2019

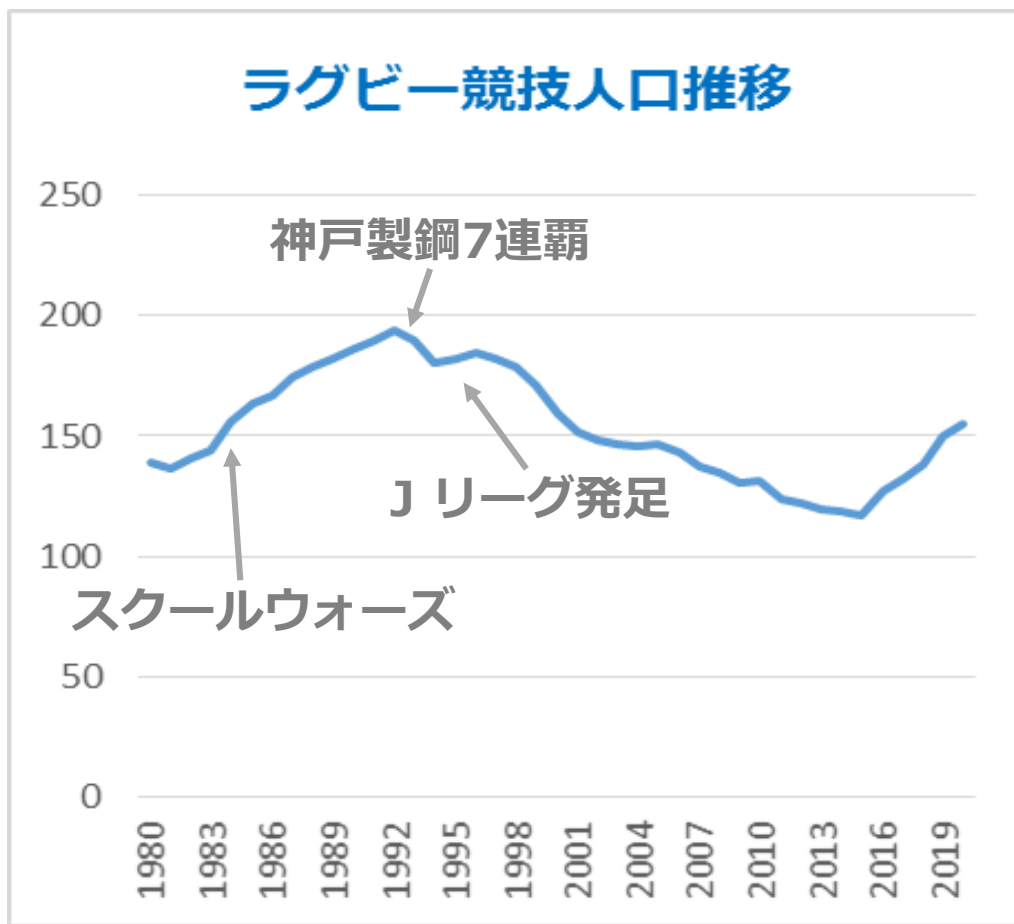
ラグビー文化のさらなる普及・2019ラグビーW杯観客動員に向けた
ZEROからの創造



STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

ワールドカップの成功は、現役ラグビー関係者だけの努力では到底叶うものではない。



ラグビー競技人口
(2015年)

11万5千人

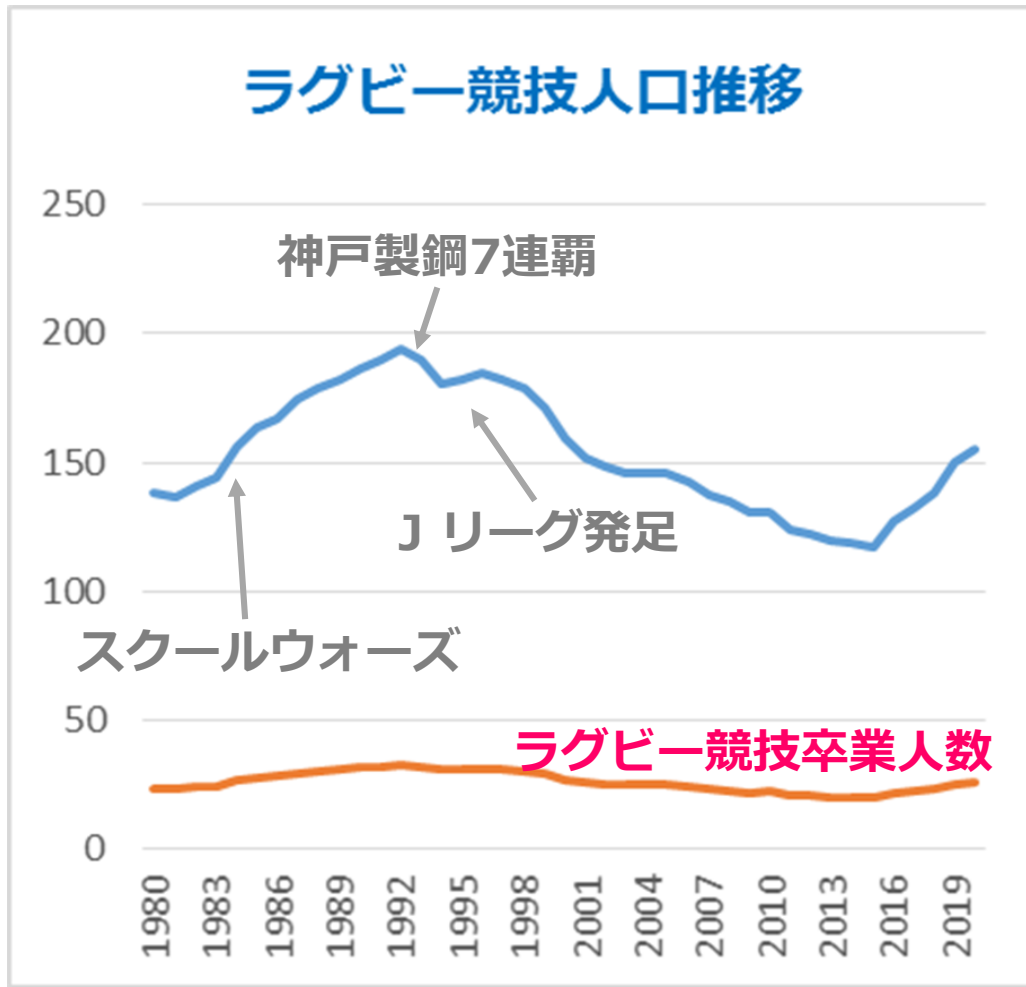
イングランド
(2015年)

観戦者数
205万8千人

観戦者需要
20分の1

STREET RUGBY ALLIANCE

ラグビーには卒業生がいる、 その数は想像を超えていた



競技者の
平均プレー年数

6年

と仮定

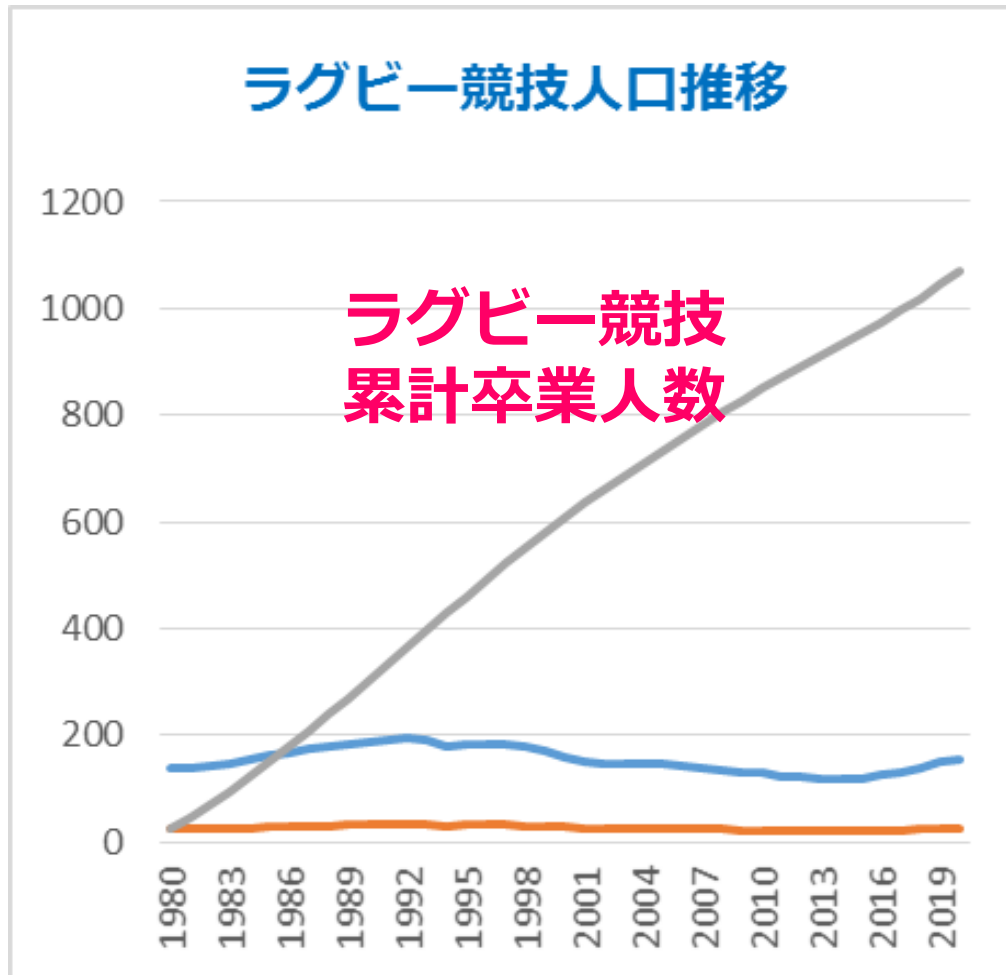
毎年

平均**2万5千人**

がラグビーを**卒業**

STREET RUGBY ALLIANCE

37年間で100万人を超える ラグビー卒業生たちの存在

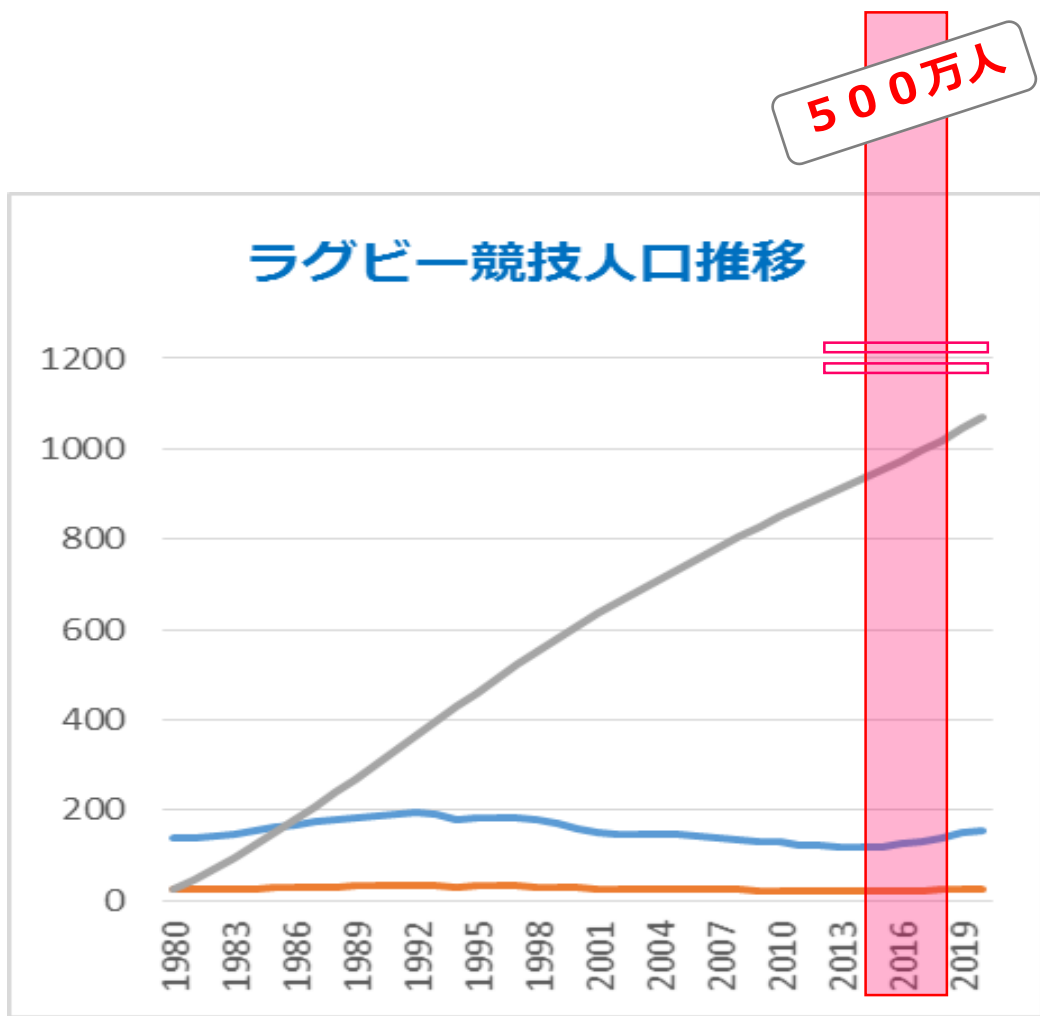


1980年以降累計
卒業人数を算出

2017年で
**100万人
超え**

STREET RUGBY® ALLIANCE

ラグビー卒業生が家族や友人、未経験者をラグビー仲間にするれば、500万人の壁もそう遠くはない



卒業生
||
ラグビー経験者
彼らが友人や未経験者
を連れて
ストリートラグビー
に参加すると…
ターゲット需要
500万人
V ||
イングランド (2015年)
観戦者数
205万8千人

STREET RUGBY ALLIANCE



Make another **ZERO to ONE** toward to Rugby World Cup 2019

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

眠れるラグーマン達を呼び起こせ、 いざ、ストリートラグビーで！！

ラグビー競技人口
(2015年)
11万5千人

競技者の
平均プレー年数
6年
と仮定

1980年以降
累計卒業人数
を算出

卒業生
II
ラグビー経験者

イングランド
(2015年)
観戦者数
205万8千人

CONCEPT
OVER

35

彼らが未経験者
を一人連れて
ストリートラグビー
に参加すると・・・

観戦者需要
20分の1

毎年
平均2万5千人
がラグビーを
卒業

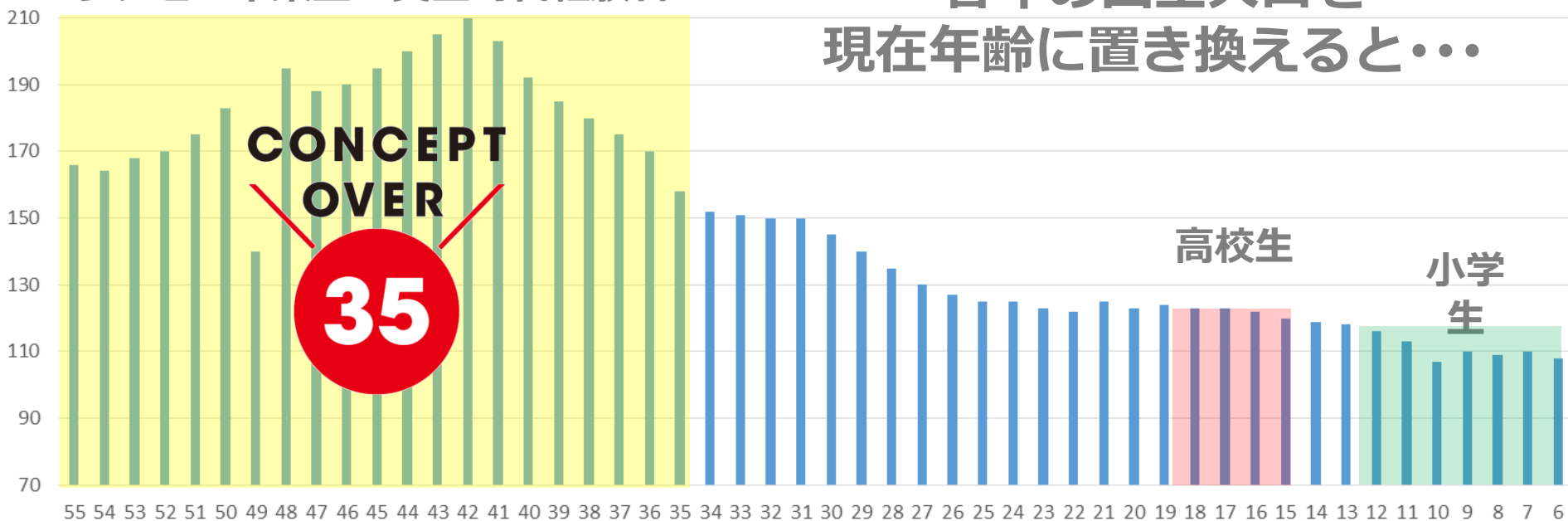
2017年で
100万人
超え

ターゲット需要
200万人<

ストリートラグビーをまちに一般化！！ ストリートラグビー・シティーアライアンスの創造

ラグビー卒業生・黄金時代経験者

各年の出生人口を
現在年齢に置き換えると・・・



思い起こせ！！

職場仲間・友人とラグビーに触れて交流を楽しもう

伝えろ子供達へ！！

感性に刺激を与えよう「世代を超えた交流」を生もう

まちに躍動感を！！

ラグビーの楽しさをボールを通じてまちへ広げよう

日本のOVER35への声かけ戦略

運営サポート

ラグビー協会

W杯組織委員会

ラグビー選手会

JSC

Cheer! NIPPON

文部科学省

国会ラグビークラブ

スポーツ庁

●世界6ヶ国商工会議所

オーストラリア商工会議所

ニュージーランド商工会議所

イングランド商工会議所

フランス商工会議所

イタリア商工会議所

南アフリカ商工会議所

●世界青年会議所

110ヶ国 / 17万人

現役メンバーに加え約
250万人以上ものOBが
存在

●日本青年会議所

会員数 32,396名

(2015年)

●ロータリークラブ国内

会員数 (2006年度)

11万450人

●国際ロータリークラブ

会員数 (2006年度)

120万8562人

●ライオンズクラブ国内

会員数 (2006年度)

13万1千人

参加・現場サポート

現役ラグー

卒業ラグー

一般未経験者

地域企業

情報拡散ツール

facebook

amazon

YAHOO!
JAPAN

CONCEPT
OVER

35

GRASS ROOTS
ZERO TO ONE

2019

STREET RUGBY ALLIANCE



Make another **ZERO to ONE** toward to Rugby World Cup 2019

STREET RUGBY ALLIANCE

「CONCEPT OVER 35」メンバーと「ZERO TO ONE 2019」ボール70万個配布プロジェクトをつなげ！！

210万人をパスでつなごう！！

3人一組でプレーするストリートラグビー、
210万人=70万個のボールをワールドカップまでに配布

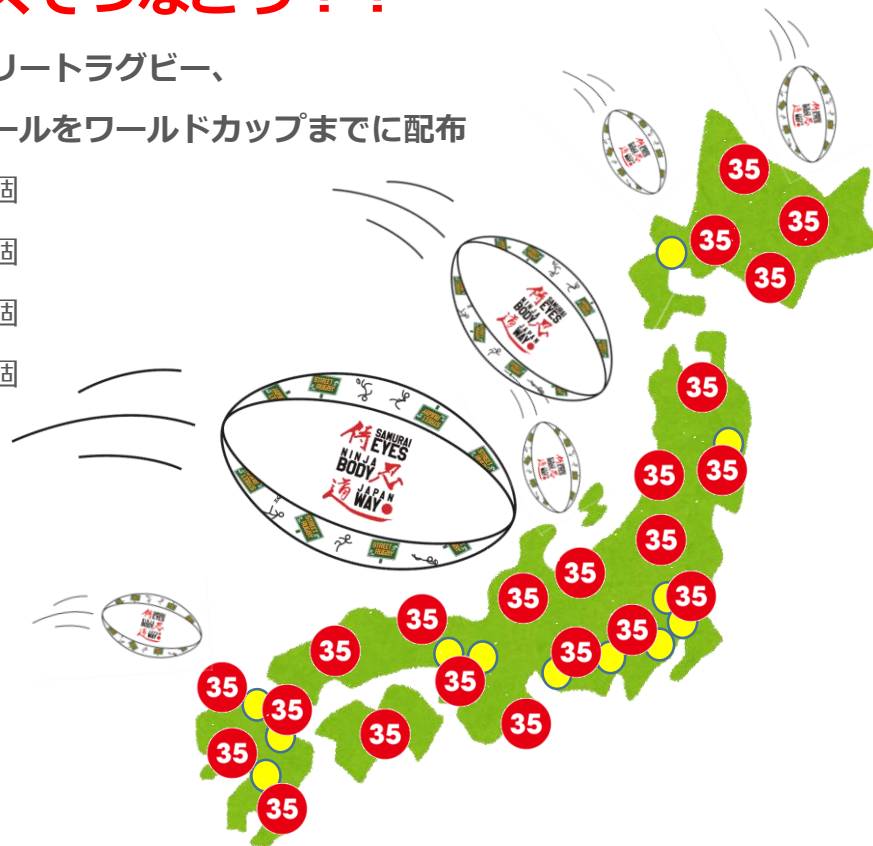
2016年=100000個

2017年=200000個

2018年=200000個

2019年=200000個

GRASS ROOTS
ZERO TO ONE
2019



CONCEPT
OVER

35

ボールが届く！！

手に触れる！！

パスが始まる！！

ボールの使い方やラグビーに
興味がわく！！

CONCEPT OVER 35の
有志が現れる！！

ラグビーの素晴らしさを知る！！

ボールで絆が生まれる！！

STREET RUGBY ALLIANCE

STREET RUGBY VISION

ストリートラグビーとボール70万個が出会うときこそ！！

近隣地域や全国の活動把握、ボール配布先情報と指導者要請情報、インストラクター講習会や練習会の案内、ワールドカップ各地イベント開催情報、他地区との交流、ラグビー発展に向けたアイデアの創出



STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

17歳から始める日本の未来への活動！！

大学や社会人を通じ、将来ラグビーを継続する選手はほんの一握りの限られた選手です。このストリートラグビーは、まちにラグビーを広げコミュニティの創造やまちの絆づくり、国民全体の健康寿命の延伸を目的とした地域密着型のスポーツです。17歳になればインストラクターになる資格が生まれます。生涯社会貢献活動の一環としてライセンスを保持し、将来はアドバンスインストラクターとして、まちにシティアライアンスを創造し、ストリートラグビーでまちを自らの力で活性化しましょう。

毎年
平均**2万5千人**
がラグビーを
卒業

インストラクターライセンスを取得

ラグビーの魅力をまちに広げよう！

アドバンスインストラクターを取得

社会活動とインストラクターの育成に未来を！

シティアライアンスを創造

自らの力でまちを活性化！

CONCEPT
OVER

35

HAPPEN. MAKE OUR DREAMS
17
SINCE

競技者の
平均プレー年数

6年

と仮定

35歳では
99%の選手
がラグビーから
遠ざかる

この活動の必要性が大学や企業からは絶賛！！

17

18

21

25

30

35

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

ホームページ登録で始まるネットワークと全国活動の一体感

インストラクターネットワーク



- ・対話型インターネットツールの有効活用
- ・会員登録を行い、HP上での新鮮な情報共有
- ・インストラクター制度の充実
- ・強化地区の設定
- ・シティーアライアンスの拡大
- ・地域密着型で体験会やイベント情報を配信し、新規参加動員の向上を図る

ストリートラグビーシティアライアンスの創造と役割

①システムの標準化

- ・講習会やインストラクター講座の開催
 - ・イベントの開催
- シティアライアンスの創造

定例体験会



小規模イベント



③スポーツレガシーの創発

- ・世代・国境を越えた「スポーツ仲間」
- ・地域内での「絆」の創発

②コミュニティの活性化

- ・体験会を通じて感動共有
 - ・心と身体の健康促進
- 子どもの社会的成長・地域活性を創発。



大規模イベント



ボールプロジェクト

CONCEPT
OVER

35

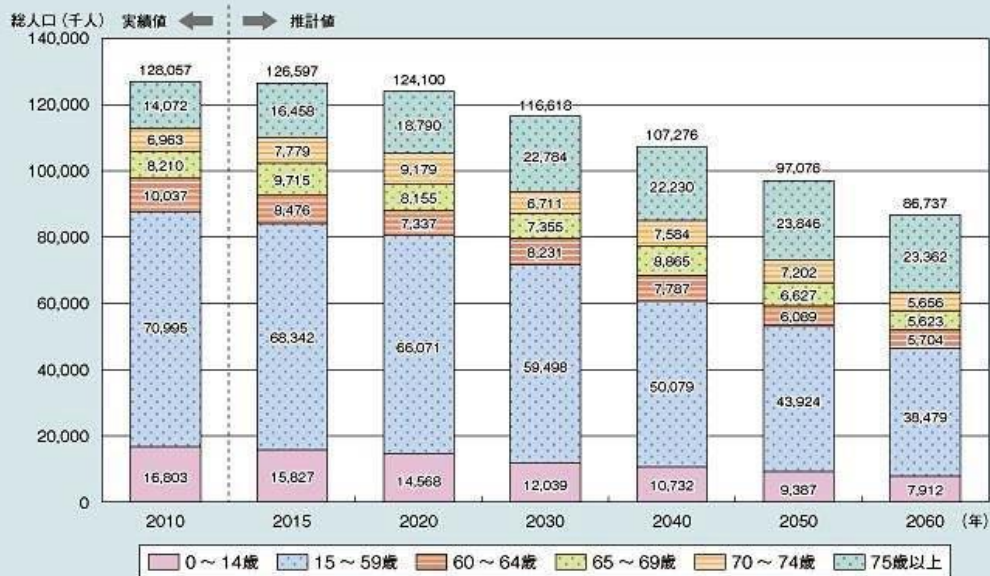
④ボランティア育成

地域でのストリートラグビーの普及活動・イベント運営を経験する事で2019年W杯、2020年東京五輪への積極的なボランティア活動参加を促す。

日本の近未来を救うことが我々のまさにシグニーである

将来推計人口でみる50年後の日本（内閣府）

図1-1-3 年齢区分別将来人口推計



資料：2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 2010年の総数は年齢不詳を含む。

年齢区分将来人口推計

2015年と2020年のグラフを見比べると、目に見えるほどの人口減少、少子高齢化が顕著です。

これは、生活するまちのすぐ近隣で誰かが寝たきりに陥ったり、亡くなっていくことを示しています。

働き盛りの年代には大きな負担がかかり、ストレスや過労の日々がすぐ横にいる家族にのしかかることを意味しています。

この未来を見据えた棒グラフの落ち込みをできるだけ滑らかにし、そこに起るであろう問題に、一人ひとりが自分事である自覚を持ち、すぐにでも何かを変えることが急務なのです。



ストリートラグビーはSPORTの精神と共にある



スポーツはもともと、人材育成のためにできた、疑似体験型教材であった。スポーツの語源は**SPORT**である。

SPORTとは気さくで人に思いやりがあり、人の嫌がる何事にも率先して取組むやさしさを持ち、自らが先陣を切って皆のために戦う精神を持つ人柄を指した。その当時は、信頼、そしてリーダーシップを兼ね備えた人間に与えられる特別な敬称でもあった。

その**SPORT**の精神を最も育成できるスポーツの代名詞こそがラグビーである。ラグビーを一度でもプレーしたものは、志高くその精神を国に生かすことが必須であり、また、義務でもある。

故 三笠宮寛仁

**CONCEPT
OVER**



活動プロセス

STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.

CONCEPT OVER 35メンバーへの登録

ストリートラグビー
インストラクター資格の取得

ストリートラグビー同好会（シャムロック）の設立

地域練習会の定期的開催

地域を巻き込んだイベントの開催

シティアライアンスの創造
ボールプロジェクトとの連携と指導

シヤムロックプログラム（3人での活動）

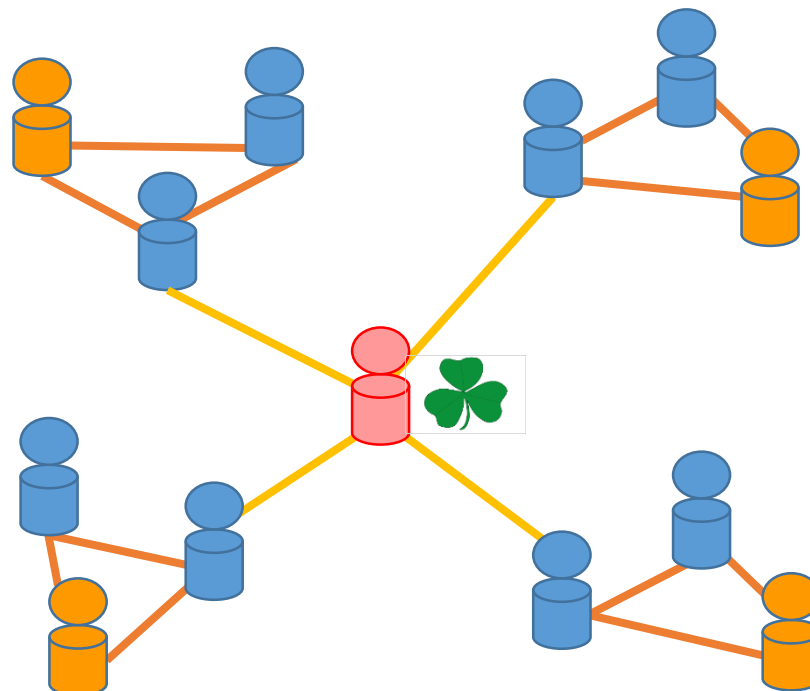
人のつながりの強さ（=ソーシャル・インセンティブ）で
地域にCONCEPT OVER 3 5メンバーを増やし初心者仲間を！

①C.O.35メンバーで(シヤムロック)をつくる

②C.O.35 & S.T.Rインストラクターがマネジメント

3人一組で役割の分担、メンバーの勧誘、練習会計画、ボールプロジェクトとの連動、他のシヤムロックとの交流等

→やる気効果は8倍に！

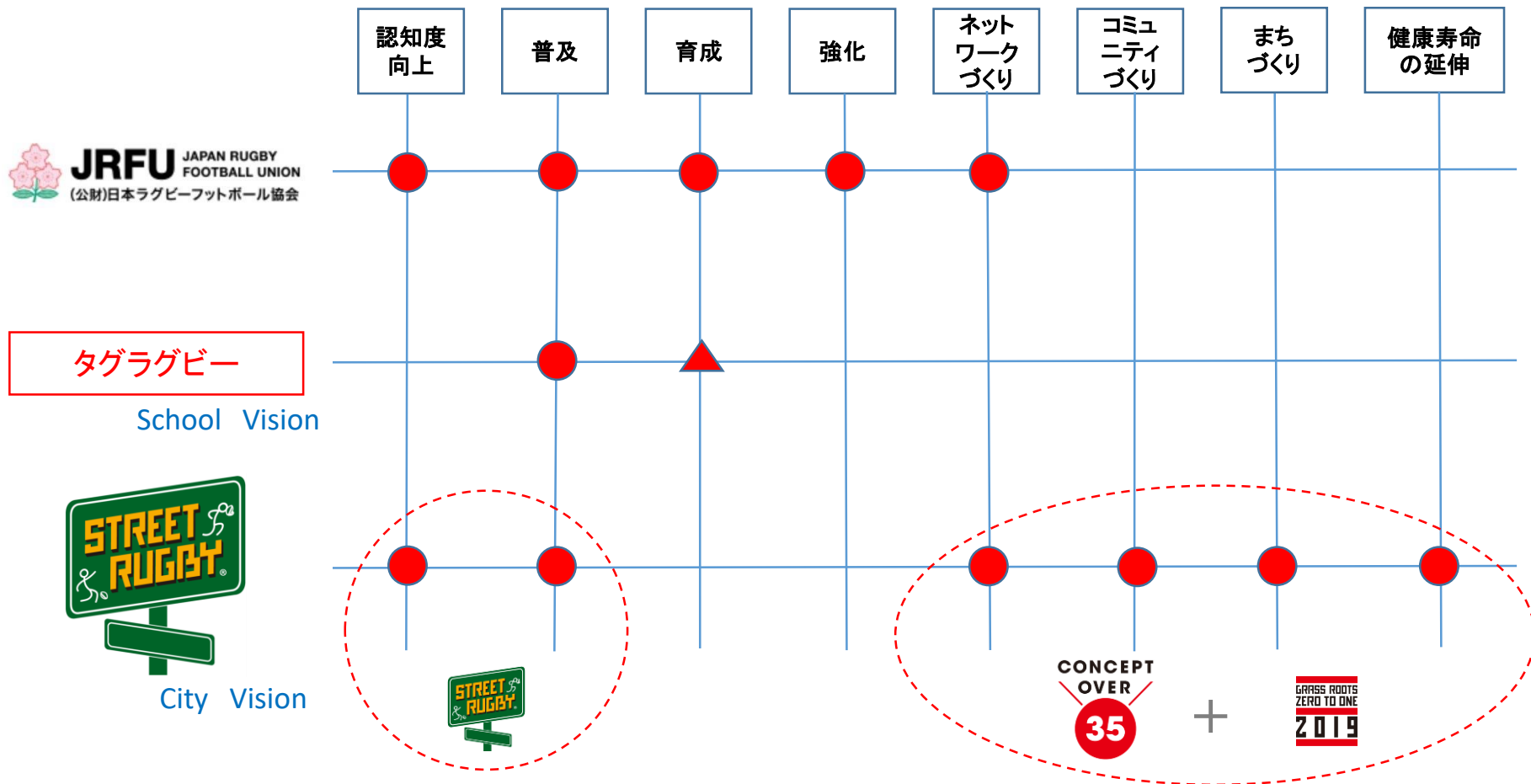


オンライン上でメンバー同士の活動を共有

→やる気効果は2倍に！

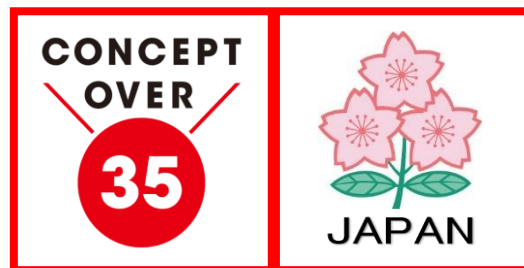
③地域の人のつながりがさらに強まる

ストリートラグビーの役割



プライドインセンティブの創造

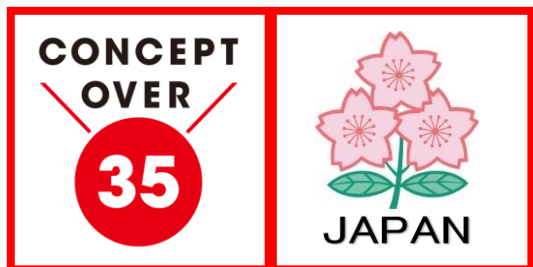
CONCEPT OVER 35 及びZERO TO ONE 2019 を自分事思考へ。
心理誘導を目的としたプライドインセンティブとして、
桜のマークとのダブルネーム使用でプライドを呼び起こせ。



使用パターン例、バンパーステッカー・ネクタイ・ピンバッチ・Tシャツ等
シャムロック登録をすることと共に使用权申請をすることで使用承諾するシステム。

ストリートラグビーツーリズム

テストマッチ、スーパーラグビー、トップリーグやストリートラグビー大型イベント開催に伴い全国のCONCEPT OVER 35メンバーがオフ会を開催。



CONCEPT OVER 35メンバー向け格安ツアーの創造。
オフ会での代表選手などとの交流会や各地の活動報告会を実施し、
日本全体のつながりを啓発。

エリートプレイヤーの発掘

ストリートラグビー参加者の60%以上は初心者です。
全国での開催時に可能性を持つ選手を発掘、追随します。



地域におけるラグビー環境を提案し、一時的な教育を施します。
定期的に基礎体力やスキルを測定、審査し、期間を見て全国レベルへの
引き上げを試み、エリートプレイヤーへのサクセスストーリーを創造します。

ALLIANCEの事業

STREET RUGBY ALLIANCE



CONCEPT
OVER

35

GRASS ROOTS
ZERO TO ONE
2019

ネットワークの構築

登録者の拡大

インストラクターライセンス
の取得

イベントの創造

ボールと35の融合
による練習会の実施
地域での交流と啓発

協賛企業への協力要請

特別会員からの支援

配布先の調整とその後の活用

開催地の整理と
スケジュールリング

開催地での
利害整理
練習会の実施

各地イベントの開催

インストラクターの養成

シティアライアンスの創造

特別会員ネットワークの構築

補助金、助成金の調達

基金の調達

選手会への理念の啓発
現役、OB選手の派遣
イベントの創造

ラグビー選手

インストラクターの養成

イベント開催地区協会ま
たはチームへの協力要請

レフリーの派遣

イベントの共催

ツーリズムの創造

プライドインセンティブ
の創造

ワールドカップ
開催地への啓発

自治体との連会

継続的な地域への発信



Please contact us immediately info@street-rugby.com TEL03-0000-0000



STREET RUGBY ALLIANCE

Copyright © 2015 STREET RUGBY ALLIANCE All Rights Reserved.